

2023年度 宝塚市立光明小学校3年生環境体験学習報告書

「生き物つながり探検隊」～宝塚自然の家～

記録・吉田小恵子

日時	2023年10月23日(月) 午前9:30～11:40
場所	宝塚自然の家
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・宝塚自然の家周辺で生きる草木や昆虫などに、五感を通して触れ、豊かな自然と里山を体験する ・アリジゴクとアリの姿から、生きていくことの一生懸命さを実感する ・園内のいろいろな生き物を観察し、生き物のつながり確かめる ・歴史民俗資料館や体験学習室を見学し、昔の農家の暮らしに触れる
児童	光明小学校3年生 1組34名 担任澤田先生 他2名
MNCスタッフ	総括；村上 アリジゴクの話；木村(俊) 小山 高山 樋口 吉田 溝部 松田(輝) 新宅 9名
スケジュール	8:30 阪急宝塚駅前集合 私有車に分乗、宝塚自然の家へ出発 9:30 スタッフ、児童事務所前に集合・はじめのあいさつ 先生・村上 9:40 園内探検に出発 班ごとに行動 1班～3班；事務所前から歴史民俗資料館、体験学習室を経て、事務所前へ 4班～6班；事務所前からギフトボックス、ハレーロボを経て、事務所前へ 全員；事務所前→アカシア広場→森のキッチン→多目的広場 11:10 多目的広場でアリジゴクの話 木村(俊) 11:30 児童感想発表とまとめ 先生・村上 11:40 昼食(多目的広場で) 先生 12:30 児童出発
経過・状況	<p>秋晴れ、青空、絶好の天気でした。児童たちも元気いっぱい。自然の家の「自然」を全身で感じる、そんな体験になりました。昨年屋根の吹き替え工事の最中で中を見学できなかった歴史民俗資料館は新しい茅葺屋根で覆われ見違えるようにきれいになりました。下から見ると縄目もはっきりとし、使われたススキの穂が置かれていました。体験学習室では昔の食器などを興味深く見ていました。少しずつ色づいてきた木々の下を楽しそうに歩きました。</p> <p>自然の家の取り組みであるギフトボックス(写真)とその食草カンアオイを見たら、ギフトボックスの蛹を見ました。この姿で一生のほとんどを過ごすと聞いてびっくり。</p> <p>森のキッチンでは、アリジゴクのすり鉢状の巣を確認して、ムクロジの実が石鹸の役割をする体験。シャカシャカと楽しく振り続け、ペットボトルが泡だらけ。でも、一番楽しんだのはムシ取りでした。カマキリの大物からかわいいアマガエル、赤とんぼなどで虫かごはいっぱいになりました。木村さんのアリジゴクの紙芝居を楽しんだ後も、捕まえた虫たちの名前を教えてもらおうと、木村さんを取り囲んでいました。</p>
児童の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の家にはガラスがない、と思いました。 ・カゲロウは3日ぐらいしか生きられないのに、ウスバカゲロウは2、3週間生きるのはすごいと思いました。 ・虫のこととか、いっぱい教えてくれてありがとうございました。
雑感	自然の中で本当に生き生きと活動する児童の姿は、かっこいいですね。元気をもらえます。紅葉には少し早いようでしたが、心地よい空の下でゆったりと取り組むことができました。

《児童の様子と自然を写真で》



生きもの探検隊出発です



さあ何が見つかるかな



新しくなった茅葺の資料館



資料館の中、昔のかまどにへ～え



昔の子どもたちははたらきものだった



ヤマカガシだ、毒蛇だよ



ハレーロボ、天文台です



ギフチョウケースを見に行こう



ギフチョウのサナギだよ



カンアオイがあった



昆虫みつけたい！ 一番楽しい！！



アリジゴクの巣があるよ、すり鉢の形だ



ふりふり、ムクロジ石けん体験



アリジゴク紙芝居の始まり始まり



これ何ですか？ 木村先生大人気

《出会った生き物たち》

アマガエル、ヒメアカネ、ナツアカネ、イトトンボのなかま、オカメコオロギのなかま、ショウリョウバッタ、カマキリのなかま、ヤマカガシ、キロスズメバチの死骸、サルトリイバラの実、センブリの花など